



2024年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社ヒューマンクリエイション  
ホ ー ル デ ィ ン グ ス  
代 表 者 名 代表取締役社長 富永邦昭  
(コード番号：7361 東証グロース)  
取 締 役  
問 合 せ 先 管 理 本 部 長 河 邊 貴 善  
(TEL. 03-5157-4100)

ヒューマンクリエイションホールディングスが2024年9月期通期決算を発表  
2030年9月期にEPS約4.0倍、ROE30%超を目指す”新”中長期経営方針を開示

当社は、本日2024年11月14日、2024年9月期 通期決算を発表致しました。同時に、従来開示していた26/9期を最終年度とする3ヵ年の中期経営計画をリバイスし、30/9期にEPS約4.0倍(24/9期比)、ROE30%超の確保を目指す”新”中長期経営方針を開示しております。

加えて、財務資本戦略を一部見直し、従来掲げていた株主還元方針に加え、「自己資本比率 $\leq$ 40.0%」とする新基本方針を追加致しました。これは、①資金効率の良化と、②株主の期待に応え続けることを目的に、1) M&Aを含む再投資に従来以上にコミットすると共に、2) 仮に十分な再投資機会に恵まれず、4四半期連続で自己資本比率が40.0%を超過することが見込まれる場合には、40.0%を超過する自己資本を原資に、資金を追加的な株主還元(自己株式取得等を含む)に振り向けることを意味します。

“新”中長期経営方針と、“新”財務資本戦略のもと、資金効率よく創出キャッシュを再投資または株主還元に向け続けることで、中長期目線に立ち、EPSとROEにこだわり、1株あたりの価値最大化に向け邁進してまいります。また、この一環として、同日に自己株式140,000株(発行済み株式に対する割合：7.27%)の消却と株式分割(1:2)の実施を発表しております。詳細につきましては、添付のプレスリリースをご参照ください。

-----以下プレスリリース-----

## ■2024年9月期 通期業績ハイライト

### 【通期業績】

24/9期通期の売上高においては、7,165百万円（前期比+10.5%、計画比-8.0%）EBITDAは759百万円（前期比-7.3%、計画比-9.5%）、EPSは246.23円（前期比-7.0%、計画比-8.0%）となりました。

24/9期 通期実績

### 24/9期 通期業績サマリー



24/9期は前期比で10.5%増収を確保も、計画比では各段階収益共に10%前後の未達で着地した。特に戦略領域では、シナジー創出や新規M&A貢献が想定を下回り、期初計画を13.0%下回った。

### 通期業績の計画と実績

(百万円)	2023/9期通期実績		2024/9期通期計画		2024/9期通期実績		
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	計画比
売上高	6,486	+11.8%	7,785	+20.0%	7,165	+10.5%	▲8.0%
↳戦略領域*	2,101	+22.4%	2,518	+19.9%	2,190	+4.2%	▲13.0%
↳SES*	4,385	+7.3%	5,266	+20.1%	4,975	+13.5%	▲5.5%
EBITDA	818	+23.7%	839	+2.5%	759	▲7.3%	▲9.5%
営業利益	697	+28.0%	717	+2.8%	631	▲9.6%	▲12.0%
親会社株主利益	438	+27.8%	438	+0.0%	404	▲7.8%	▲7.9%
EPS (円)	264.72	+39.9%	267.66	+1.1%	246.23	▲7.0%	▲8.0%

注：戦略領域の売上高は、コンサルティング及び委託開発・運用を手掛ける子会社(ACF/SLG/HMB/COSMOPOLIA/TARA)の売上高と、BKSの受託案件を累計している。一方、SESの売上高は、BKSのエンジニア派遣業務にかかわる売上高とCLS(2024年10月1日付でBKSに吸収合併)の売上高と、及び一部廃止している内部取引高を累計している。戦略領域・SES別の24/9期売上高計画は、これまで未公開している社内計画値を掲載している。

© 2024 Human Creation Holdings Inc.

16

### 【セグメント別業績】

戦略領域の売上高は2,190百万円（前期比+4.2%、計画比-13.0%）となりました。四半期毎の推移では、成長回帰を実現しているものの、2023年9月期に獲得した大型案件が剥落したことに加え、シナジー創出や2~4億円の売上を見込んでいたM&Aによる貢献が限定的だったため、期初計画を13.0%下回る結果となりました。事業規模の拡大と、事業構造を転換する必要があると認識しております。

SESにつきましても、SES人員数の拡大により売上高が4,975百万円（前期比+13.5%、計画比-5.5%）となりました。人員採用は計画通り進みましたが、本格稼働までのタイムラグが想定以上であったため、計画を下回る結果となりましたが、第4四半期の前年同期比率は18.6%増と遡増傾向にあります。

## ■中期経営計画を中長期経営方針へリバイス

これまでは、中期経営計画として26/9期に売上高11,000百万円、EBITDA1,225百万円の達成を目標としておりました。しかし、24/9期は戦略領域の計画未達幅が大きくギアの入れ替えが必要と判断したことから、30/9期を最終年度とする6カ年の中長期経営方針にリバイス致しました。



計数計画につきましては、2<sup>nd</sup> ステージ最終年度にあたる 27/9 期は、M&A を含む積極投資による規模拡大と事業構造の転換をテーマに、売上高 12,000 百万円を実現いたします。戦略領域の成長を重視し、売上高は 5,000 百万円とし、うち 3,000 百万円を M&A による効果と想定しております。3<sup>rd</sup> ステージは、投資回収とシナジー創出に重きを置き、最終年度である 30/9 期に、EPS1,000 百万円（24/9 期比 4.0 倍）と、ROE30%超にこだわります。

## ■財務資本戦略の方針追加

従来から掲げる株主還元方針（連続増配、総還元性向 30%以上、機動的な自己株式取得等の実施）に加え、財務資本戦略として「自己資本比率 $\leq$ 40%」の方針を追加しました。

大前提として、持続的成長に向けた再投資を優先する方針ですが、①資金効率の良化と、②株主の期待に応えるため、仮に十分な投資機会（M&A等）に恵まれず、4 四半期連続で自己資本比率が 40%を超過することが見込まれる場合には、40%を超過する自己資本を原資に追加的な株主還元（自己株式取得等を含む）を実施することで、随時、資本構成の適正化を図ることと致しました。なお、直近 2 四半期は自己資本比率 40.0%を超過（24 年 6 月末は 41.3%、同 9 月末は 44.8%）しており、25 年 3 月末までの 2 四半期以内に資本構成の適正化が必要な状況にあります。

資金効率よく創出キャッシュを再投資又は株主還元に向け続ける財務資本戦略をベースに、中長期的目線に立ち、EPS と ROE にこだわり、1 株あたりの価値最大化に向け邁進してまいります。

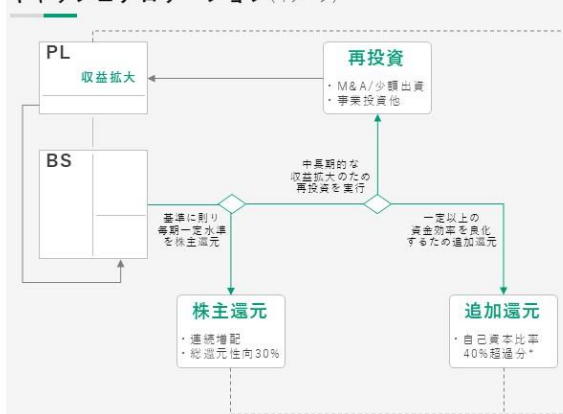
中長期経営方針

## キャッシュアロケーションと、1株あたりの価値最大化に向けた方針整理



資金効率よく創出キャッシュを再投資または株主還元に向け続ける財務資本戦略をベースに、中長期的目線に立ち、EPSとROEに拘り、1株あたりの価値最大化に向け邁進する。

### キャッシュアロケーション (イメージ)



### 1株あたりの利益や累積株主還元額 (イメージ)



注：追加還元の基本的な考え方は、「自己資本比率40%以下の維持を基本方針とし、中長期連続で基準を超過しないよう、自己株式取得等の手段により、資本構成の適正化を随時図る。」であり、ある時点の自己資本比率が40%を超過したとしても、直ちに自己株式取得等を実施するとは限らない点に、予め留意されたい。

## ■自己株式の消却と株式分割

自己株式 140,000 株につきまして、2024 年 11 月 29 日をもって消却いたします。

発行済み株式に対する割合：7.27%  
消却実施予定日：2024 年 11 月 29 日

また、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、流動性の向上と投資家層の拡大を図る目的で、当社株式 1 株につき 2 株の割合をもって分割いたします。

基準日公告日：2024 年 12 月 13 日  
基準日：2024 年 12 月 31 日  
効力発生日：2025 年 1 月 1 日

## ■詳細のご案内

詳細は当社 IR ページに掲載している 2024 年 9 月期 通期決算 中長期経営方針説明資料をご確認ください。  
URL：<https://hch-ja.co.jp/ir/news/>